

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける 訳語の修訂についての考察(Ⅲ)

——同義語・類義語の入れ替えによる訳語の修訂——

金 敬 雄

一、はじめに

井上哲次郎の『訂増英華字典』⁽¹⁾では底本であるロブシャイドの『英華字典』⁽²⁾の訳語について、おおまかに分けて次の四つの面で改訂を施している。

- ・訳語の削減：訳語の一部または全部が本来対応していた英語のところから外されたもの。これに関してはすでに拙稿⁽³⁾で考察してみた。
- ・訳語の修訂：本来の訳語についての改訂。その内、符号に関わる訳語の修訂と字順の変更による訳語の修訂に関してはすでに拙稿⁽⁴⁾で考察してみた。
- ・訳語の新設：底本では訳語がなかった見出し語及び子見出しの英語に訂増版で初めて訳語を付けたもの。
- ・訳語の増補：底本の訳語の上に新たな訳語を補充したもの。

本稿では井上哲次郎の『訂増英華字典』における訳語の修訂の全容を解明する一環として、同義語・類義語の入れ替えによる訳語の修訂について考察してみたい。ただし、以下のものは本稿で扱わない。

- ・元の訳語と修訂された訳語が他の意味で同義語・類義語であっても、英語との対応から見て、同義語・類義語にならないもの。

- ・字順の変更による同義語・類義語の入れ替えとなっているもの。
- ・訳語の揺れと思われるもの。「Halleluia, Hallelujah, n.」の項の訳語「讚美爺和華」から「讚美耶和華」への修訂がその一例である。
- ・異体字の入れ替えとなっているもの。「Cake, n.」の項の「糕」から「餠」への修訂がその一例である。異体字の判別は主に『漢語大字典』、『康熙字典』に拠っている。

訳語の部分には句形式のものが多くあるが、それらも全部「訳語」と称することにする。また、項目によっては修訂されている訳語以外に複数の訳語が付いている場合もある。その際、修訂されている訳語にはアンダーラインを付して示す。関連語彙の出处を見出し語で示すが、それらは訂増版に拠っている。その際、見出し語に修訂が施されているものがあったとしても、すべて訂増版の見出し語だけで示すことにする。

なお、本稿では便宜上次のような用語を使用するので、ここにまとめて提示しておきたい。

- 見出・共通 = 底本と訂増版の見出し語が同じであるもの。
- 品 詞 = 見出し語の品詞は訂増版に拠っている。
- 英語・共通 = 底本と訂増版の子見出しとしての英語が同じであるもの。
- ・羅布・英語 = 底本の子見出しの英語（井上哲次郎の訂増版でロブシャイドの名前を漢字で「羅布存徳」としてしているところから、「羅布」を用いる。以下同様）
- 羅布・訳語 = 底本の訳語
- 井上・英語 = 訂増版の子見出しの英語
- 井上・訳語 = 訂増版の訳語

二、訳語の修訂

井上哲次郎の『訂増英華字典』で、底本であるロブシャイドの『英華字典』の訳語の対して、下の図1の「得倒的」から「得到的」へのように訳語の修訂を施しているものが数多くあるが、本稿では同義語・類義語の入れ替えに限定して考察してみたい。なお、訳語が対応している英語の特徴から、以下のように「見出し語の部分」と「子見出しの部分」に分類することにした。

図1 (底本)

(訂増版)

Acquisitious, 得倒的, *tak, 'tò tik, Teh tén tik, 獲
了的, wok, lík tik, Hwah líu tik, 學過的, hok,
kwo' tik, Hloh kwo tik.*

Acquisitious, a. 得到的, 獲了的, 學過的.

I. 見出し語の部分

次の1～8番はいずれも見出し語に対応している訳語が修訂されているものである。

1. 見出・共通 Acquisitious

品 詞 a.

羅布・訳語 得倒的, 獲了的, 學過的。

井上・訳語 得到的, 獲了的, 學過的。

底本の訳語「得倒的」が訂増版で「得到的」に修訂されている(上の図1を参照されたい)。しかし、実質上「倒」と「到」の入れ替えとなっている。『漢語大字典』によれば、「倒」は助詞として使われる際、動作の完了を表し、「到」は補語として使われる際、動作の効果を表すと記してある。即ち、「倒」と「到」はほぼ同じ意味である。したがって、「得倒的」と「得到的」を同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、このような場合、井上・訳語のほうの「到」が

使用される。

2. 見出・共通 Acquisitive

品 詞 a.

羅布・訳語 得倒嘅, 所得之事物。

井上・訳語 得到嘅, 所得之事物。

底本の訳語「得倒嘅」が訂増版で「得到嘅」に修訂されている。しかし、実質上「倒」と「到」の入れ替えとなっている。「倒」と「到」の意味合いは、上の1番で述べた通りである。したがって、「得倒嘅」と「得到嘅」を同義語として扱うことにした。

3. 見出・共通 Attainable

品 詞 a.

羅布・訳語 可得, 可得倒, 可能得, 可入得, 可中得, 可及。

井上・訳語 可得, 可得的, 可得到, 可能得, 可入得, 可中得, 可及, 可獲得到, 可獲得来。

底本の訳語「可得倒」が訂増版で「可得到」に修訂されている。しかし、実質上「倒」と「到」の入れ替えとなっている。「倒」と「到」の意味合いは、上の1番で述べた通りである。したがって、「可得倒」と「可得到」を同義語として扱うことにした。

なお、井上・訳語のほうの「可得的」、「可獲得倒」、「可獲得来」は訂増版で新たに増補した訳語である。

4. 見出・共通 Babishness

品 詞 n.

羅布・訳語 係嫩仔嘅行爲, 似孩兒之行爲。

井上・訳語 係孩兒嘅行爲, 似孩兒之行爲。

底本の訳語「係嫩仔嘅行爲」が訂増版で「係孩兒嘅行爲」に修訂されている。しかし、実質上「嫩仔」と「孩兒」の入れ替えとなっている。「嫩仔」と「孩兒」はいずれも「子供」という意味である。したがって、「係嫩仔嘅行爲」と

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

「係孩兒嘅行爲」を同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、井上・訳語のほうの「孩兒」が一般的に使用される。

5. 見出・共通 Fear

品 詞 v.t.

羅布・訳語 怕, 畏, 慌, 懼, 恐, 驚, 憚, 畏懼, 恐怕, 驚怕, 慄, 悚, 忌憚, 兢, 肅。

井上・訳語 怕, 畏, 慌, 懼, 恐, 驚, 憚, 畏懼, 恐怕, 驚怕, 恟, 悚, 忌憚, 兢, 肅。

底本の訳語「慄」が訂増版で「恟」に入れ替えられている。「慄」と「恟」はいずれも「恐れる」という意味があり、同義語である。

捉え方によっては、底本の訳語「慄」が削除され、訂増版で新たに「恟」を補充したと見ることも可能であろう。しかし、この2語の配置が対応している上、同義語なので、本稿で扱うことにした。

6. 見出・共通 Fetlock

品 詞 n.

羅布・訳語 馬脚毛

井上・訳語 馬脚毛處

底本の訳語「馬脚毛」は「毛」を指しているのに対して、訂増版では「處」を付け加えることで、「部位」を指すようになった。だから、改訂によって訳語の意味が変化したかのように見える。しかし、英語「Fetlock」には、「蹴爪」と「蹴爪毛」両方の意味があるから、英語との対応では、訳語「馬脚毛」と「馬脚毛處」どちらでもいいわけである。また、「馬脚毛」と「馬脚毛處」が指している内容が非常に近いものである。これらを踏まえ、訳語「馬脚毛」と「馬脚毛處」を類義語の部類に入れ、本稿で扱うことにした。

7. 見出・共通 Inaudible

品 詞 a.

羅布・訳語 唔聽得倒, 聽唔倒, 聽唔見, 聽而不聞, 不能聽之。

井上・訳語 唔聽得到, 聽唔見, 聽而不聞, 不能聽之, 聽不出。

この項では、まず底本の訳語「唔聽得倒」が訂増版で「唔聽得到」に修訂されている。「倒」と「到」の意味合いは、上の1番で述べた通りである。したがって、「唔聽得倒」と「唔聽得到」を同義語として扱うことにした。

また、底本の訳語「聽唔倒」が訂増版で見当たらなくなり、訂増版の訳語の最後に「聽不出」が配置されている。この2語は配列が対応していないが、これを除いて、他の訳語はまったく同じ配列となっている。したがって、「聽不出」は「聽唔倒」を修訂したものと見なすことにした。この2語はいずれも「聞き取れない」という意味であり、同義語である。

8. 見出・共通 Stupidity

品 詞 n.

羅布・訳語 愚蠢, 蠢笨之事, 懵懂, 蠢拙, 愚拙, 癡迷, 冥頑不靈。

井上・訳語 愚蠢, 蠢笨之事, 懵懂, 蠢拙, 愚拙, 癡迷, 冥頑不靈, 茅塞。

この項では、底本の訳語「蠢笨之事」が訂増版で「蠢笨之事」に修訂されている。しかし、実質上「蠢」と「蠢」の入れ替えとなっている。「蠢」と「蠢」はいずれも「おろか」という意味がある。したがって、訳語「蠢笨之事」と「蠢笨之事」を同義語として扱うことにした。

なお、井上・訳語のほうの「茅塞」は訂増版で新たに増補した訳語である。

II. 子見出しの部分

この部分では子見出しの英語に対応している訳語の修訂になるが、訳語が対応している子見出しの特徴から、さらに「英語が共通するもの」と「英語に改訂が加えられているもの」に分類することにした。

a. 英語が共通するもの

次の1～43番は、いずれも訂増版で底本の子見出しの英語をそのまま継承し、

対応する訳語に修訂を施しているものである。

1. 見出・共通 Abstractedly
品 詞 adv.
英語・共通 abstractedly, to consider a subject by itself.
羅布・訳語 推原其事而論其理, 論事之獨者。
井上・訳語 推源其事而論其理, 論事之獨者。

底本の訳語「推原其事而論其理」の中の「原」が訂増版で「源」に入れ替えられている。しかし、「原」と「源」はいずれも「本(もと)」という意味があり、同義語である。したがって、「推原其事而論其理」と「推源其事而論其理」を同義語として扱うことにした。

2. 見出・共通 Acquisition
品 詞 n.
英語・共通 gain
羅布・訳語 利
井上・訳語 利益

この項では、同義語の「利」と「利益」が入れ替えられている。

3. 見出・共通 Apartment
品 詞 n.
英語・共通 a female apartment.
羅布・訳語 閨房, 閨閣, 香閨, 深閨, 閨闈, 闈内, 女眷房, 内眷房。
井上・訳語 閨房, 閨閣, 香閨, 深閨, 閨闈, 闈内, 女眷閨, 内眷房。

底本の訳語「女眷房」が訂増版で「女眷閨」に入れ替えられている。「女眷房」と「女眷閨」はいずれも「女性の部屋」という意味で、同義語である。

4. 見出・共通 Attack
品 詞 n.
英語・共通 they made one attack.
羅布・訳語 打一場, 戰一回, 打一陳。

井上・訳語 打一場，戰一回，打一陣。

底本の訳語「打一陣」が訂増版で「打一陣」に修訂されている。しかし、「陣」と「陣」にはいずれも「陣立て」という意味がある。したがって、「打一陣」と「打一陣」はどちらも「一戦する」という意味になり、同義語である。

ちなみに、現代中国語では、このような場合、一般的に井上・訳語のほうの「陣」が使用される。

5. 見出・共通 Attempt

品 詞

n.

英語・共通 they failed in their attempt at stealing.

羅布・訳語 偷唔倒，偷唔成，行竊未成。

井上・訳語 偷唔到（不），偷唔成（不），行竊未成。

この項は、一見底本の訳語「偷唔倒」と「偷唔成」がそれぞれ訂増版で「偷唔到（不）」と「偷唔成（不）」に修訂されているように見えるが、実は括弧付きの「不」は底本の発音表記の中にあつたものである。それを訂増版でただ機械的に訳語のすぐ後に移動してきた。その結果、このように分かりにくい形になったのである。これに関しては下の図2を参照されたい。

即ち、この項は実質上底本の訳語「偷唔倒」が訂増版で「偷唔到」に修訂されただけである。「倒」と「到」の意味合は上の「二・I」の1番で述べた通りで、この項の「偷唔倒」と「偷唔到」を同義語として扱うことにした。

図2 (底本)

Attempt, n. an effort to gain a point. 試一吓 shí yǎ, shí yǎ. Shí yǎ shí, 試一試 shí yǎ, shí. Shí yǎ shí; no attempt at display, 無乜敬意, mò má, kǐng' f'; a rash attempt, 險行 'hǎn háng. Hǎn háng; they made no attempt, 佢唔郁 't'ú 'm yuk, 佢唔郁動 't'ú 'm yuk, tung'; they failed in their attempt at stealing, 偷唔倒, 't'au 'm 't'ò. 'T'au [不] puh t'áu, 偷唔成, 't'au 'm 'shing. 'T'au [不] puh ching, 行竊未成, háng sít, mò 'shing. Háng sít wí ching; they failed in their attempt upon his life, 殺唔倒 shát, 'm 't'ò, 行刺不遂, háng ts'á' pat, sui'. Háng ts'á' puh sui, 謀殺不果, mau shát, pái, 'kwó. Mau shát puh kó.

(訂増版)

Attempt, n. An effort to gain a point. 試一吓, 試一試; no attempt at display, 無乜敬意; a rash attempt, 險行; they made no attempt, 佢唔郁, 佢唔郁動; they failed in their attempt at stealing, 偷唔到(不), 偷唔成(不), 行竊未成; they failed in their attempt upon his life, 殺唔到, 行刺不遂, 謀殺不果.

6. 見出・共通 Baffle
品 詞 v.t. or i.
英語・共通 to elude.
羅布・訳語 戲弄人, 打諛。
井上・訳語 戲弄人, 閃諛。

底本の訳語「打諛」が訂増版で「閃諛」に入れ替えられている。「打諛」と「閃諛」がいずれも『漢語大詞典』では確認できない。

しかし、「諛」には「冗談を言う」、「からかう」の意味がある。また、『漢語大詞典』には「冗談を言う」という意味の「打関」や「おもしろいことを言って笑わせる」という意味の「打諢」が載っている。したがって、同じようなパターンである「打諛」が「冗談を言う」、または「からかう」という意味で使用されてもおかしくないだろう。また、訂増版では「打諛」を「閃諛」に修訂することで、「避ける、逃れる」という意味がより明確に現れ、英語「to elude」を意識した修訂となっている。「打諛」と「閃諛」を現段階で熟語として確認できないが、以上のことを踏まえ、本稿では類義語として扱うことにした。

7. 見出・共通 Balk
品 詞 v.t.
英語・共通 to disappoint.
羅布・訳語 徒然瞞盼望, 噤人。
井上・訳語 徒然瞞盼望, 不遂願, 禁人, 敗望。

底本の訳語「噤人」が訂増版で「禁人」に入れ替えられている。『漢語大詞典』によれば、「禁」が「噤」と同様に、「口を閉じて、ものを言わない」という意味でも使用されると記してある。したがって、「噤人」と「禁人」を同義語として扱うことにした。

なお、井上・訳語のほうの「不遂願」と「敗望」は訂増版で新たに増補したものである。

8. 見出・共通 Bandy

品 詞 v.i.

英語・共通 to contend, as at a game, in which each strives to drive the ball his own way.

羅布・訳語 門毬。

井上・訳語 門毬。

底本の訳語「門毬」が訂増版で「門毬」に修訂されている。「毬」と「毬」はいずれも「皮製のボール」という意味である。したがって、「門毬」と「門毬」を同義語として扱うことにした。

9. 見出・共通 Bandy

品 詞 n.

英語・共通 a club bent at the lower part for striking a ball.

羅布・訳語 打波棍, 打毬棍。

井上・訳語 打波棍, 打毬棍。

この項も、実質上「毬」と「毬」の入れ替えとなっている。上の8番と同様の理由で、「打毬棍」と「打毬棍」を同義語として扱うことにした。

10. 見出・共通 Bank

品 詞 n.

英語・共通 to accompany one to the bank of a river.

羅布・訳語 送到江干, 遠法江干, 送至岸邊, 送到河邊。

井上・訳語 送到江干, 遠法江岸, 送至岸邊, 送到河邊。

底本の訳語「遠送江干」が訂増版で「遠送江岸」に修訂されている。しかし、実質上「干」と「岸」の入れ替えとなっている。「干」には「岸」という意味がある。したがって、「遠送江干」と「遠送江岸」を同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、このような場合、井上・訳語のほうの「岸」が使用される。

11. 見出・共通 Basket

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

品 詞 n.

英語・共通 a dirt basket.

羅布・訳語 櫛椀簍, 畚箕, 𦉳, 拂坭簍, 土箕, 藁, 桴。

井上・訳語 櫛椀簍, 畚箕, 𦉳, 拂坭簍, 土箕, 藁, 桴。

底本の訳語「𦉳」が訂増版で「𦉳」に修訂されている。『漢語大字典』によれば、「𦉳」と「𦉳」はいずれも「畚」を指すと記してある。即ち、同義語である。

12. 見出・共通 Blush

品 詞 n.

英語・共通 to put one to the blush.

羅布・訳語 使人見羞, 令佢見醜。

井上・訳語 使人見羞, 令佢見羞。

底本の訳語「令佢見醜」が訂増版で「令佢見羞」に修訂されている。しかし、実質上「醜」と「羞」の入れ替えとなっている。「醜」は「みにくい」という意味で、「羞」は「恥じる」という意味である。この2文字だけだと、意味上のずれがある。ところが、「見醜」と「見羞」になるとそれぞれ「醜態を見られる」、「恥をかかされる」の意味を表し、類義語になる。したがって、「令佢見醜」と「令佢見羞」を類義語として扱うことにした。

13. 見出・共通 Blustering

品 詞 n.

英語・共通 noisy pretension.

羅布・訳語 矜誇, 誇大, 嘍吧嘈, 狂誇。

井上・訳語 矜誇, 誇大, 嘍吧嘈, 矜誇, 猖狂, 狂蕩, 性燥。

底本の訳語「狂誇」が訂増版で「矜誇」に修訂されている。「狂誇」と「矜誇」はいずれも「うぬぼれて、もったいぶる」という意味であり、同義語である。しかし、この修訂の結果、井上・訳語のほうに「矜誇」が二つとなり、不自然な形になってしまった。これは明らかに訂増版の修訂ミスである。

なお、井上・訳語のほうの「猖狂，狂蕩，性燥」の3語は訂増版で新たに増補したものである。

14. 見出・共通 Body

品 詞 n.

英語・共通 a body of troops.

羅布・訳語 一陳兵馬，一隊兵馬，一彪兵馬，一枝人馬。

井上・訳語 一陣兵馬，一隊兵馬，一彪兵馬，一枝人馬。

この項では、底本の訳語「一陳兵馬」が訂増版で「一陣兵馬」に修訂されている。しかし、実質上「陳」と「陣」の入れ替えとなっている。「陳」と「陣」の意味合いは上の「二・II・a」4番で述べた通りである。したがって、「一陳兵馬」と「一陣兵馬」を同義語として扱うことにした。

ところが、「Moment, n.」、「Momentarily, adv.」、「Momentary, a.」などの見出しの項においても、底本の訳語の中に含まれている「陳」が訂増版で「陣」に修訂されているが、英語との対応から見てそれらを同義語の入れ替えとして捉えられないので、本稿では扱わず、別途考察することにした。

15. 見出・共通 Burn

品 詞 v.t.

英語・共通 to consume with fire.

羅布・訳語 燒，焚，火焚，火燒，火化，燃燒，然，火燃，樵，爍，蒸，焦，熾。灼，爇，爠，爇，燂，爇，爇，爇，燂，燂，爇，爇，爇。

井上・訳語 燒，焚，火焚，火燒，火化，燃燒，然，火燃，樵，爍，蒸，焦，熾。灼，爇，爠，爇，燂，爇，爇，爇，燂，燂，爇，爇，爇。

底本の訳語「爇」が訂増版で「爇」に修訂されている。「爇」は「火が盛んに燃える」という意味であり、「爇」は「焼く」という意味である。したがって、この2語を類義語として扱うことにした。

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

なお、訳語「熨」から「熨」への修訂は、訂増版の修訂ミスであり、訳語「熨」から「熨」への修訂も同義語・類義語の部類に入れられない。これらは別途考察することにする。

16. 見出・共通 Calico
品 詞 n.
英語・共通 cotton cloth.
羅布・訳語 布, 白洋布。
井上・訳語 布, 棉布。

底本の訳語「白洋布」が訂増版で「棉布」に修訂されている。「白洋布」は舶来の「白い布」という意味であり、対応している英語が「cotton cloth」であることから分かるように、実質上「棉布」のことを言っている。現在の視点で、この2語を同義語として捉えるのは疑問が生じるだろうが、19世紀のことを念頭に置いて、本稿ではこの2語を同義語として扱うことにした。

17. 見出・共通 Cheat
品 詞 v.t.
英語・共通 to deceive and defraud in a bargain.
羅布・訳語 欺騙, 哄騙, 瞞騙, 阨, 阨騙, 詭騙, 撞騙, 誑騙, 誑騙, 虧騙, 讖, 諛騙, 欺騙, 欺瞞。
井上・訳語 欺騙, 哄騙, 瞞騙, 阨, 阨騙, 詭騙, 撞騙, 誑騙, 誑騙, 虧騙, 讖, 諛騙, 棍騙, 欺瞞。

底本の訳語の中に「欺騙」が二つあるが、後のほうが訂増版で「棍騙」に修訂されている。「欺騙」と「棍騙」はいずれも「騙す」という意味である。即ち、この2語は同義語である。この項は底本に同じ訳語「欺騙」が二つあったため、訂増版で修訂を施したものと思われる。

18. 見出・共通 Clothes
品 詞 n.
英語・共通 a suit of clothes.

羅布・訳語 一脱衣服, 一套衣裳, 一襲衣。

井上・訳語 一脱表服, 一套衣裳, 一襲衣。

底本の訳語「一脱衣服」が訂増版で「一脱表服」に修訂されている。「衣服」と比べて「表服」のほうが意味範疇が小さいが、この2語は類義語である。

19. 見出・共通 Complaining

品 詞 ppr. or a.

英語・共通 expressing grief.

羅布・訳語 告不安, 説不樂, 憂悶。

井上・訳語 告不安, 説不安, 憂悶。

底本の訳語「説不樂」が訂増版で「説不安」に修訂されている。「不樂」は「喜ばない」、「不安」は「安心できない」という意味なので、「不樂」と「不安」は意味上のずれがある。しかし、英語「expressing grief」との対応から見て、「説不樂」と「説不安」はいずれも訳語として適切である。したがって、この2語を類義語として扱うことにした。

20. 見出・共通 Comply

品 詞 v.i.

英語・共通 to comply with improperly.

羅布・訳語 隨佢放肆, 徇縦, 殉, 殉。

井上・訳語 隨佢放肆 (他), 徇縦, 殉縦, 殉。

この項は、一見底本の訳語「隨佢放肆」と「殉」がそれぞれ訂増版で「隨佢放肆 (他)」と「縦殉」に修訂されているように見えるが、実は訂増版の訳語「隨佢放肆 (他)」の中の「他」は底本の発音表記の中にあつたものである。それを訂増版でただ機械的に訳語のすぐ後に移動してきた。その結果、このように分かりにくい形になったのである。これは上の「二・II・a」の5番と同じパターンである。

即ち、この項は実質上底本の訳語「殉」が訂増版で「殉縦」に修訂されただけである。「殉」には「従う」という意味があり、「縦」には「放任する」とい

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

う意味がある。『漢語大詞典』では「殉縦」を確認することができないが、「殉」と「縦」の組み合わせでできた単語として見ることは可能であろう。そして、対応している英語を見ると「殉縦」はまさにそれに合わせた形となっている。

なお、底本のほうに訳語「殉」が二つある。訂増版では、それを是正するために修訂を行ったものと思われる。

21. 見出・共通 Corpulent

品 詞 a.

英語・共通 stout, rat.

羅布・訳語 肥大, 肥臍, 肥胖, 骯髒, 臃臃, 碩大, 降肛, 臃。

井上・訳語 肥大, 肥臍, 肥胖, 骯髒, 臃降, 碩大, 降肛, 肥胖, 肥肪, 臃。

底本の訳語「臃臃」が訂増版で「臃降」に修訂されている。「臃」と「降」はいずれも「肥える」という意味があるので、「臃臃」と「臃降」を同義語として扱うことにした。

また、底本の訳語「降肛」が訂増版で「降肛」に修訂されているが、これは底本のミスが訂増版で修正したものである。この類のものは別途考察することにする。

なお、井上・訳語のほうの「肥胖, 肥肪」が訂増版で新たに増補した訳語である。

22. 見出・共通 Distinguish

品 詞 v.t.

英語・共通 to distinguish this from that.

羅布・訳語 分別彼此。

井上・訳語 分辨彼此。

この項では、実質上「分別」が「分辨」に修訂されている。しかし、「分別」と「分辨」はいずれも「区別をつける」という意味で、同義語である。したがって、「分別彼此」と「分辨彼此」も同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、このような場合、井上・訳語のほうの「分辨彼此」を一般的に使用される。

23. 見出・共通 Down
 品 詞 n.
 英語・共通 the fine, soft feathers of fowls.
 羅布・訳語 毳毛, 毳, 幼毛, 毫毛, 毳, 毳, 毳廷。
 井上・訳語 毳毛, 毳, 幼毛, 毫毛, 毳, 毳, 毳廷。

この項では、底本の訳語「毳」が訂増版で「毳」に入れ替えられたものと思われる。底本と訂増版を照合してみると、この2語の配置がずれているが、それは、訳語「毳」との配列が入れ替えられたことにすぎない。『漢語大字典』によれば、「毳」は「羽」の意味であり、「毳」は「毛」の意味である。したがって、「毳」と「毳」を類義語として扱うことにした。

24. 見出・共通 Effectually
 品 詞 adv.
 英語・共通 with effect.
 羅布・訳語 有應驗, 有成功, 有成效, 有形迹。
 井上・訳語 有應驗, 有成功, 有成效, 有形迹。

底本の訳語「有成效」と「有形迹」がそれぞれ訂増版で「有成功」と「有成效」に修訂されている。「有成效」は「効果がある」という意味であり、「有成功」は「ある目的に達した」という意味で、この2語は類義語である。しかし、この修訂の結果、井上・訳語のほうに「有成功」が二つとなり、不自然な形になってしまった。これは明らかに訂増版の修訂ミスである。

なお、底本の訳語「有形迹」は「形跡がある」という意味で、英語「with effect」との対応を成していない。そのため、訂増版で修訂を施したものと思われる。この類のものはまた別途考察する。

ちなみに、現代中国語では、井上・訳語のほうの「有成功」より底本の訳語「有成效」のほうが使用される。

25. 見出・共通 Eject
品 詞 v.t.
英語・共通 to eject from an office.
羅布・訳語 擯, 黜, 革職。
井上・訳語 擯, 黜革, 革職。

底本の訳語「黜」が訂増版で「黜革」に修訂されている。「黜」と「黜革」はいずれも「罷免」の意味があり、同義語である。

26. 見出・共通 Gentleman
品 詞 n.
英語・共通 a man of education and good breeding.
羅布・訳語 先生, 老師, 相公, 老爺, 紳士, 郷宦, 縉紳先生。
井上・訳語 先生, 老師, 相公, 老爺, 紳士, 郷宦, 君子, 郷紳, 縉紳先生。

底本の訳語「郷宦」が訂増版で「郷官」に修訂されている。「郷宦」は「退職している元役人」という意味なのに対して、「郷官」は「現役役人」という意味上のずれはあるが、「紳士」を指すという意味では類義語である。

なお、井上・訳語のほうの「君子、郷紳」は訂増版で新たに増補した訳語である。

27. 見出・共通 Glaze
品 詞 v.t.
英語・共通 to glaze, as pottery.
羅布・訳語 上釉, 上釉水, 釉。
井上・訳語 上油, 上油水, 釉。

この項では、底本の訳語に含まれている「釉」が訂増版で「油」に修訂されている。『漢語大字典』によれば、「釉」は「釉」と同じだと記してある。さらに「釉」の項では、「一般的に油とする」となっている。

即ち、「釉」と「油」が同義語なのである。したがって、「上釉」と「上油」、

「上砒水」と「上油水」も同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、このような場合、一般的に井上・訳語のほうの「油」が使用される。

28. 見出・共通 Hair

品 詞 n.

英語・共通 hair standing on end.

羅布・訳語 頭髮豎起, 毛豎, 髮聳, 毛骨聳然。

井上・訳語 頭髮豎起, 毛豎, 髮竦, 毛骨竦然。

この項では、実質上底本の訳語の中の「聳」が訂増版で「竦」に修訂されている。「聳」と「竦」はいずれも「懼れる」と「立つ」の意義があり、同義語である。したがって、「髮聳」と「髮竦」、「毛骨聳然」と「毛骨竦然」も同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、このような場合、一般的に底本の訳語「毛骨聳然」のほうで使用される。

29. 見出・共通 Hang

品 詞 v.i.

英語・共通 to hang about a person.

羅布・訳語 歩歩跟住, 掛在衫尾, 繫於人。

井上・訳語 歩歩跟住, 掛在衫尾, 繫於人。

底本の訳語「掛在衫尾」が訂増版で「掛在衫尾」に修訂されている。しかし、実質上「衫」と「衫」の入れ替えとなっている。「衫」と「衫」はいずれも「一重の服」という意義があり、同義語である。したがって、「掛在衫尾」と「掛在衫尾」も同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、底本のほうの「衫」が一般的に使用される。

なお、底本の訳語「繫於人」が訂増版で「繫於人」に修訂されているが、これは訂増版の修訂ミスである。この類のものは別途考察することにする。

30. 見出・共通 Hem

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

品	詞	v.t.
英語・共通		to hem the lower end of a dress.
羅布・訳語		挑衫脚。
井上・訳語		挑衫脚。

この項も上の29番と同様で、「挑衫脚」と「挑衫脚」を同義語として扱うことにした。

31. 見出・共通	Humble	
品	詞	a.
英語・共通		he is very humble.
羅布・訳語		<u>佢好謙卑</u> , 他甚謙厚。
井上・訳語		<u>佢厚謙卑</u> , 他甚謙厚。

底本の訳語「佢好謙卑」が訂増版で「佢厚謙卑」に修訂されている。しかし、実質上「好」と「厚」の入れ替えとなっている。「好」と「厚」はいずれも副詞として使用されていて、意味上類似している。したがって、「佢好謙卑」と「佢厚謙卑」を類義語として扱うことにした。

32. 見出・共通	Imminent	
品	詞	a.
英語・共通		imminent danger.
羅布・訳語		好險, 將臨之危, <u>壘卵之危</u> , 危急, 燃眉之急, 垂危, 危在旦夕。
井上・訳語		好險, 將臨之危, <u>累卵之危</u> , 危急, 燃眉之急, 垂危, 危在旦夕。

底本の訳語「壘卵之危」が訂増版で「累卵之危」に修訂されている。しかし、実質上「壘」と「累」の入れ替えとなっている。「壘」と「累」はいずれも「累積」の意味があり、同義語である。したがって、「壘卵之危」と「累卵之危」を同義語として扱うことにした。

33. 見出・共通	Obstinate
-----------	-----------

品 詞	a.
英語・共通	stubborn.
羅布・訳語	拗頸嘅, 板頸的, <u>梗頸的</u> , <u>頑梗</u> , 逆逆, 刁抗, 倨儻, 舛逆, 忤。
井上・訳語	拗頸嘅, 板頸的, <u>硬頸的</u> , <u>頑硬</u> , 逆逆, 刁抗, 倨儻, 舛逆, 忤。

この項は、底本の訳語「梗頸的」と「頑梗」がそれぞれ訂増版で「硬頸的」と「頑硬」に修訂されている。『漢語大字典』によれば、「硬」には、「強い、執拗」などの意味があり、「梗」には「剛直、まっすぐ」という意味がある。また、『漢語大詞典』の「梗」の項では、「梗化」を取りあげ、それは「頑固で教化に従わないことを言う」と記してある。また「梗頑」は、「頑固」の意味だと記してある。これらの解釈から「硬」と「梗」の意味が類似していることが分かる。したがって、「梗頸的」と「硬頸的」を類義語として扱うことにした。

「頑梗」と「頑硬」はいずれも『漢語大詞典』に収録されている。そして、「頑梗」には「愚かで服従しない」という意味があり、「頑硬」は「硬い、頑強」という意味だと記してある。即ち、「頑梗」はマイナスの意味合いがあり、「頑硬」はマイナスとプラスの両方で使用できるという違いはあるものの、意味上類似点がある。したがって、この2語も類義語として扱うことにした。

34. 見出・共通	Pear
品 詞	n.
英語・共通	the native pear of the south of China.
羅布・訳語	<u>沙梨</u> , 沙棠。
井上・訳語	<u>砂梨</u> , 沙棠。

底本の訳語「沙梨」が訂増版で「砂梨」に修訂されている。しかし、実質上「沙」と「砂」の入れ替えとなっている。「沙」と「砂」はいずれも「細かい石粒」という意味があり、同義語である。また、「沙梨」は特定の一品種の梨だ

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

けを指す言葉ではないことから、本稿では「沙梨」と「砂梨」も一応同義語の部類に入ることにした。しかし、『漢語大詞典』には「沙梨」は収録されているものの、「砂梨」は確認できない。また『現代漢語詞典』(1989年版)にも「沙梨」しか載っていない。したがって、この項は訂増版の修訂ミスと見なすべきであろう。

35. 見出・共通 Perfectly
品 詞 adv.
英語・共通 perfectly good.
羅布・訳語 全善, 全好, 盡善。
井上・訳語 全善, 善好, 盡全。

この項では、底本と訂増版の訳語の対応から見て、「全好」が「善好」に、「盡善」が「盡全」に修訂されている。ところが、よく見ると底本の訳語を構成している四文字が訂増版で新たに組み合わせられたことにもなる。この点から、これは訂増版を製版とする際起こった何らかのミスによるものだろうと推測することもできる。しかし、訂増版の訳語「善好, 盡全」が底本の訳語「全好, 盡善」と意味上類似しているので、類義語として捉え、本稿で扱うことにした。

36. 見出・共通 Pray
品 詞 v.i.
英語・共通 to address the Supreme Being with reverence and solemnity.
羅布・訳語 祈禱, 告禱, 祝禱。
井上・訳語 祈禱, 告禱, 祈禱。

底本の訳語「祝禱」が訂増版で「祈禱」に修訂されている。「祝禱」と「祈禱」はいずれも「祈願する」という意味であり、同義語である。しかし、修訂の結果、井上・訳語のほうに「祈禱」が二つとなり、不自然な形になってしまった。これは明らかに訂増版の修訂ミスである。

37. 見出・共通 Purchase
品 詞 v.t.
英語・共通 obtained by purchase.
羅布・訳語 買倒。
井上・訳語 買到。

「倒」と「到」の意味合いは上の「二・I」の1番で述べた通りで、「買倒」と「買到」を同義語として扱うことにした。

38. 見出・共通 Purchased
品 詞 pp. or a.
英語・共通 to have purchased.
羅布・訳語 買倒。
井上・訳語 買到。

上の項と同様で、「買倒」と「買到」を同義語として扱うことにした。

39. 見出・共通 Surprise
品 詞 v.t.
英語・共通 to strike with wonder or amazement.
羅布・訳語 令出奇, 使出奇, 使驚訝。
井上・訳語 令出奇, 使出異, 使驚訝。

底本の訳語「使出奇」が訂増版で「使出異」に修訂されている。「出異」も「出奇」と同様に「普通でない」という意味なので、「使出奇」と「使出異」を同義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、底本のほうの「出奇」が一般的に使用される。

40. 見出・共通 Vitious
品 詞 a.
英語・共通 vitious language.
羅布・訳語 敗壞嘅話頭, 邪説。
井上・訳語 壞嘅話頭, 邪説。

底本の訳語「敗壞嘅話頭」が訂増版で「壞嘅話頭」に修訂されている。しかし、実質上「敗」が抜けた形になっている。「敗壞」と「壞」には「悪い」という意味の程度の差はあるものの、ほぼ同じ意味である。したがって、「敗壞嘅話頭」と「壞嘅話頭」を同義語として扱うことにした。

41. 見出・共通 Water-man

品 詞 n.

英語・共通 a boatman.

羅布・訳語 水手, 舟子, 梢, 舫, 榜, 榜人, 水練。

井上・訳語 水子, 舟子, 梢, 舫, 榜, 榜人, 水練, 蛋家。

底本の訳語「水手」が訂増版で「水子」に修訂されている。「水手」は「水夫」の意味であり、「水子」は「水郷の子」という意味になるのであろう。「水子」自体には「水夫」の意味はないものの、「水郷の子」だったら、舵取りなどは当然できるはずである。したがって、「水手」と「水子」を類義語として扱うことにした。

ちなみに、現代中国語では、このような場合、底本の訳語「水手」のほうが一般的に使用される。

なお、井上・訳語のほうの「蛋家」は訂増版で新たに増補した訳語である。

42. 見出・共通 Weigh

品 詞 v.t.

英語・共通 to weigh one's words.

羅布・訳語 稱其辭, 準其字。

井上・訳語 稱其辭, 準其辭。

底本の訳語「準其字」が訂増版で「準其辭」に修訂されている。しかし、実質上「字」と「辭」の入れ替えとなっている。対応する英語「to weigh one's words」の訳語として、現在の視点から言えば、当然底本の訳語は間違いで、井上・訳語のほうが適切だと判断することができる。

しかし、特に古典中国語には単文字の語彙が多く、その際、文字と語が重な

ってしまう。また、1898年刊行された『馬氏文通』では品詞名に「名字、動字」など「字」を使用している。即ち、『馬氏文通』では単語のことを「字」と称している。以上のことを踏まえ、底本の訳語「準其字」と訂増版の訳語「準其辭」を同義語として扱うことにし、本稿で取り上げた。

43. 見出・共通 While
 品 詞 n.
 英語・共通 a little while.
 羅布・訳語 有幾耐，無幾久，不久，不多時，少許，颯時，片時，暫且，姑且。
 井上・訳語 有幾耐，無頗久，不久，不多時，少許，颯時，片時，暫且，姑且。

底本の訳語「無幾久」が訂増版で「無頗久」に修訂されている。しかし、この2語はいずれも「時間があまり経過していない」状態を表すもので、同義語である。

b. 英語に改訂が加えられているもの

次の1、2番は訳語が対応している子見出しの英語に改訂が施されているものである。しかし、いずれも訳語の修訂とは直接関連していないので、ここでは表記に留めることにし、その考察は別途行うことにする。なお、改訂されている英語の部分にアンダーラインを付して示す。

1. 見出・共通 Allying
 品 詞 ppr.
 羅布・英語 by marriage.
 井上・英語 Uniting by marriage.
 羅布・訳語 結親，聯親。
 井上・訳語 結親，聯結。

この項では、底本の訳語「聯親」が訂増版で「聯結」に修訂されている。英

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

語との対応から見て、底本の訳語「聯親」のほうがより適切であるが、「聯親」と「聯結」が「結びつく」という意味では類似点があると捉え、この2語を類義語として扱うことにした。

2. 見出・共通	Base-born
品 詞	n.
羅布・英語	you base-born runt.
井上・英語	<u>Born out of wedlock</u> ; you base-born runt.
羅布・訳語	賤骨頭。
井上・訳語	底骨頭, 庶母生的。

この項では、底本の訳語「賤骨頭」が訂増版で「底骨頭」に修訂されている。「賤骨頭」は「卑しい人」という意味である。「底」は「低」と同様の意味でも使用され、「卑しい」という意味がある。即ち、「底骨頭」も「卑しい人」という意味になる。したがって、「賤骨頭」と「底骨頭」は同義語である。

ちなみに、現代中国語では、底本の訳語「賤骨頭」のほうが一般的に使用される。

なお、井上・訳語のほうの「庶母生的」は訂増版で新たに増補した訳語である。

三、終わりに

上では井上哲次郎の『訂増英華字典』における同義語・類義語の入れ替えによる訳語の修訂について考察してみた。しかし、いったい同義語と類義語のどちらにすべきか、判断にとまどう項目もあった。広い意味で全部類義語と称することも有り得るが、上で見たように全体的に同義語の部類に入れるべきものが圧倒的に多かった。したがって、比較対象となっている訳語同士が同じ意味で使用されていると考えられるものは同義語として扱い、その他、類似する意味で使用されていると考えられるものは類義語として扱うことにした。また、

「白洋布」と「棉布」、「準其字」と「準其辭」を、現在の視点では同義語として捉えられないが、本稿では19世紀のことを念頭に置いて同義語の部類に入れることにした。

以上のことも踏まえ、同義語・類義語の入れ替えによる訳語の修訂を考察した結果、次のような特徴が確認できた。

- A. 底本のミスを修正していること。「二・Ⅱ・a」の17、20番の2項がそれである。
- B. 明らかに訂増版の修訂ミスによると思われるものがあること。「二・Ⅱ・a」の13、24、34、35、36、40番の6項がそれである。
- C. 単文字の単語を二文字の単語に修訂していること。「二・Ⅱ・a」の2、25番の2項がそれである。
- D. 同義語・類義語の入れ替えをした後の訳語が、現代中国語における使用と一致しているものが、次の17項ほどある。これは複数項において同一漢字の入れ替えとなっているものを全部含めた延べ数である。

「二・Ⅰ」の1、2、3、4、7番

「二・Ⅱ・a」の1、2、4、5、10、14、16、22、27、37、38、42番

- E. 同義語・類義語の入れ替えをしたことによって、本来現代中国語における使用と一致していたものが、一致しなくなったもの、言い換えれば、修訂以前の訳語のほうが現代中国語における使用と一致しているものが、次の8項ほどある。これは複数項において同一漢字の入れ替えとなっているものを全部含めた延べ数である。

「二・Ⅰ」の8番

「二・Ⅱ・a」の24、28、29、30、39、41番

「二・Ⅱ・b」の2番

- F. 同義語・類義語の入れ替えと言っても、実質上、訳語の構成部分の文字が入れ替えられたものが多い。そして、それらの多くにおいて字体が類似している。

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ)(金 敬雄)

G. 本稿で扱った53項の内、同義語の入れ替えが39項あり、類義語の入れ替えが14項あった。また、すでに拙稿(注の4-b)で考察したように、字順の変更による同義語の入れ替えは9項ある。即ち、井上哲次郎の『訂増英華字典』全巻における同義語・類義語の入れ替えとなっている訳語の修訂が62項ある。その内、同義語の入れ替えが計48項で、類義語の入れ替えとなっている14項より圧倒的に多い。

H. 訳語の修訂に一貫性が欠けている側面がある。次はその例である。

- ① 「倒」と「到」の入れ替えによる訳語の修訂項目が「二・I」の1、2、3、7番と「二・II・a」の5、37、38番の計7項を確認することができた。しかし、「Detect, v.t.」の項には訳語「搜倒賊匪」があるが、訂増版でそれをそのまま継承し、修訂を施していない。
- ② 「二・I」の4番では「嫩仔」を「孩兒」に修訂している。しかし、「Adolescence, n.」、「Child, n.」、「Chidhood, n.」などの項では底本の訳語「嫩仔」の部分のをそのまま継承している。
- ③ 「二・II・a」の1番では「原」を「源」に修訂している。しかし、「Analyze, v.t.」、「Derive, v.t.」の項では底本の訳語「推原」などをそのまま継承している。
- ④ 「二・II・a」の10番では「干」を「岸」に修訂している。しかし、「Bank, n.」の項では底本の訳語「河干, 江干」をそのまま継承している。

なお、字順の変更による同義語の入れ替えとなっている9項も含め、井上哲次郎の『訂増英華字典』全巻における同義語・類義語の入れ替えがA～Z部における分布状況は次の通りである。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	O	P	S	V	W	小計
同 義 語	8	9	4	1	1	1	1	3	2	0	4	2	1	2	39
類 義 語	1	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	14
字順変更の同義語	2	1	0	0	0	3	0	1	0	0	1	1	0	0	9
小 計	11	13	6	2	2	5	2	5	2	1	6	3	1	3	
合 計															62

注

- (1) 井上哲次郎の『訂増英華字典』は1995年9月25日ゆまに書房から出している複製本を使用した。
- (2) 本稿では1995年佐藤武義・成澤勝共編のCD-ROM 復刻版「ロブシャイド『英華字典』」(アビリティ株式会社)を使用した。
- (3) 「井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の削減についての考察」『行政社会論集』第11巻第4号 1999年3月5日 福島大学行政社会学会
- (4) a. 「井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅰ)——符号に関わる訳語の修訂——」『行政社会論集』第12巻第2号 1999年7月31日 福島大学行政社会学会——
 b. 「井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅱ)——字順の変更による訳語の修訂——」『行政社会論集』第13巻第1号 2000年4月28日 福島大学行政社会学会

参考文献

- (1) 『古代漢語語法』馬忠著 山東教育出版社 1983年12月
- (2) 『漢語詞法論』陳光磊著 学林出版社 1994年9月
- (3) 『漢語的韻律、詞法与句法』馮勝利著 北京大学出版社 1997年7月
- (4) 『馬氏文通』馬建忠 商務印書館 1983年9月
- (5) 『馬氏文通研究資料』張万起編 中華書局 1987年8月
- (6) 『国語論究』第6集 佐藤喜代治編集 明治書院 平成9年7月15日

井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける訳語の修訂についての考察(Ⅲ) (金 敬雄)

- (7) 『漢語大字典』漢語大字典編輯委員會編著 四川辭書出版社・湖北辭書出版社
1995年5月
- (8) 『漢語大詞典』漢語大詞典編輯委員會・漢語大詞典編纂處編 漢語大詞典出版
社 1997年4月第一版
- (9) 『大漢和辭典』諸橋徹次著 大修館書店 平成8年1月10日修訂第二版第四刷
- (10) 『康熙字典』同文書局原版 中華書局香港分局 1975年2月
- (11) 『廣州話方言詞典』饒秉才・歐陽覺亞・周無忌編著 商務印書館 1985年6月
- (12) 『広東語辞典』香港萬里機構出版有限公司・東方書店編 東方書店 1997年3
月25日
- (13) 『香港粵語詞典』鄭定歐編纂 江蘇教育出版社 1997年5月
- (14) 『廣州方言詞典』李榮主編 江蘇教育出版社 1998年12月
- (15) 『漢語外來詞詞典』劉正埏・高名凱・麥永乾・史有為編 上海辭書出版社
1984年12月
- (16) 『現代漢語詞典』中国社会科学院語言研究所詞典編輯室編 商務印書館 1989
年8月版、1996年7月版
- (17) 『ランダムハウス英語辞典』小学館 CD-ROM版 1998年11月26日
- (18) *The Compact Oxford English Dictionary*. Eds. J. A. Simpson and E. S.
C. Weiner. 2nd ed. New York: Oxford, UP, 1991.